

事業報告

平成30年度 教育事業 信州高遠自然みつげ隊～秋編～

平成30年10月20日（土）～21日（日）

【対象】家族・グループ

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

○子どもたちに豊かな自然体験を経験させるとともに、科学的な好奇心を育ませる。

また、他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

時		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
10月20日（土）	13:00～13:30 13:30～	受付 開会式	散策 ネイチャーゲーム	フォトフレーム作り	クラフト活動	夕飯のつどい	夕食 休憩	星座観察	入浴	就寝	
時	6	7	8	9	10	11	12				
10月21日（日）	起床	朝のつどい 朝食	荷物整理	きのこ観察	（野外調理） 楽しもう！	秋の味覚を	閉会式・解散	12:00～12:30 12:30～	閉会式 解散		

～参加者～

7家族（大人：12名、小学生：8名、幼児：2名） 計：22名

（長野県、愛知県、東京都）

～活動トピックス～

活動Ⅰ 散策・オリジナルフォトフレーム作り

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺を散策しながら木の枝や木の実等を採集し、オリジナルのフォトフレーム作りを行った。フレームの回りを採集してきた材料や準備しておいたカラフルなマカロニクラフトの材料、紙粘土などを使い、思い思いのデザインに飾り付け、オリジナルのフォトフレームを作成した。材料の特性を生かし、立体的で素敵な作品に仕上げることができた。



活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

プラネタリウムを利用し、秋の星座や宇宙についての説明を聞いた。広大な宇宙の広さの説明や星座の成り立ちの話に聞き入っていた。その後300mmの天体望遠鏡を使って火星や月など夜空を観察したり、実際に屋外に出て指導員の説明を受けたりした。

天気にも恵まれ、秋の満天の星空を満喫することができた。



活動Ⅲ きのご観察

講師：信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員

東尾根を散策しながら、自生している「きのご」の観察を行った。今年はいきのこの観察には時期的に少し遅かったようであるが各家族とも数種類のきのごを見つけることができた。子どもたちは林の中や枯葉の下などを熱心に探し、見つけたきのごの名前やどんな特徴を持っているかなど、指導員の説明を聞きながら観察を行った。



活動Ⅳ 野外調理

「秋の味覚を楽しもう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

秋の味覚「きのご」をたっぷり入れた「きのご汁」と「炊き込みご飯」をつくった。今回も伊那市にある「きのご王国」の協力をいただき、きのごの菌床をお借りし、子どもたちは菌床から生えているきのごを収穫する体験も行った。

家族で協力し、火起こしから仕上がりまでスムーズに行うことができ、秋の味覚を十分に堪能することができた。



～参加者の声～

- スタッフのサポートもすばらしく、説明してくれる講師の先生も専門家で、参加者を楽しませ、興味を広げてくれた。ごはんもとてもおいしかった。
- 子どもがみんなとても仲良くして嬉しかった。
- 各講師の方の熱意が伝わってきて素晴らしかった。
- もう少し家族間の交流があればさらに楽しかったと思う。

～成果と課題～

○クラフトではオリジナルフォトフレーム作りを行った。飾り付けに使う素材は施設周辺の自然散策をしながら収集したものを使用したことにより、オリジナリティに富んだ作品に仕上げることができた。一人一人がとても満足していただけた。

○きのご観察は日常の生活の中ではなかなかできないとのことと安全に配慮したエリアの中で行えたことはよかったと好評を得た。きのごのシーズンが年により違うので種類や数の上で違いが出てしまうことはやむを得ないが今後も続けていきたいプログラムである。

●2日目のきのご観察から野外調理までのスケジュールが忙しく、品評会をもう少しゆっくり時間をかけて行ってもらえるとありがたいという声をいただいた。閉会式をもう少し遅くすることも可能なので検討したい。

